

目次

1. AS400 ページ処理のタイミング	2
2. AS/400 ページ設定	3
3. AS/400 保管スプールのページ設定	13
4. PC ページ処理のタイミング	18
5. PC ページ設定	18
6. PC Server ログファイルのサイズ変更	20

改訂履歴

日にち	改訂内容
2002/05/23	初版発行
2023/02/03	WilComm Ver. 8.03 用に改訂

不明点等がございましたら下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

株式会社フェアディンカム

(WilComm サポートデスク)

メール wilcomm@fairdinkum.co.jp

電話 03-5809-3727

1. AS400 ページ処理のタイミング

(1) ウィルコム の起動時

ウィルコムを「アプリケーション・コントロール・メニュー」から起動、或いは AS/400 のスタートアップ・プログラム内で、プログラム = **WP014CQSTR** を起動した際に、設定値に従って自動的にページ処理が実行されます。起動方法については、マニュアル「ウィルコムの起動と停止 (AS0004)」を参照してください。

(2) 午前 0時

ウィルコムが午前 0時の時点で起動している場合、設定値に従って自動的にページ処理が実行されます。ウィルコムを連続運転させた場合のページ処理は、このように午前 0時に実行されます。午前 0時に起動するページ処理の時間変更については、マニュアル「ウィルコムの起動と停止 (TRN062)」を参照してください。

ページ処理の実行結果は報告書としてスプール (WPLEXPRT) が出力されます。

出力待ち行列処理

待ち行列 : WILPRINTSV ライブラリ : WILCOMMCHG 状況 : RLS

オプションを入力して、実行キーを押してください。
 1= 送信 2= 変更 3= 保留 4= 削除 5= 表示 6= 解放 7= メッセージ
 8= 属性 9= 印刷状況の処理

OPT	ファイル	ユーザー	ユーザーデータ	STS	ページ	部数	用紙	タイプ	PTY
—	WPLEXPRT	WILCOMM	WCPURGE1	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	PT01	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	WCPURGE1	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	PT01	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	WCPURGE1	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	PT01	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	WCPURGE1	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	PT01	RDY	2	1	*STD		5
—	WPLEXPRT	WILCOMM	WCPURGE1	RDY	2	1	*STD		5

終わり

オプション 1, 2, 3, のパラメーターまたはコマンド
 ==>

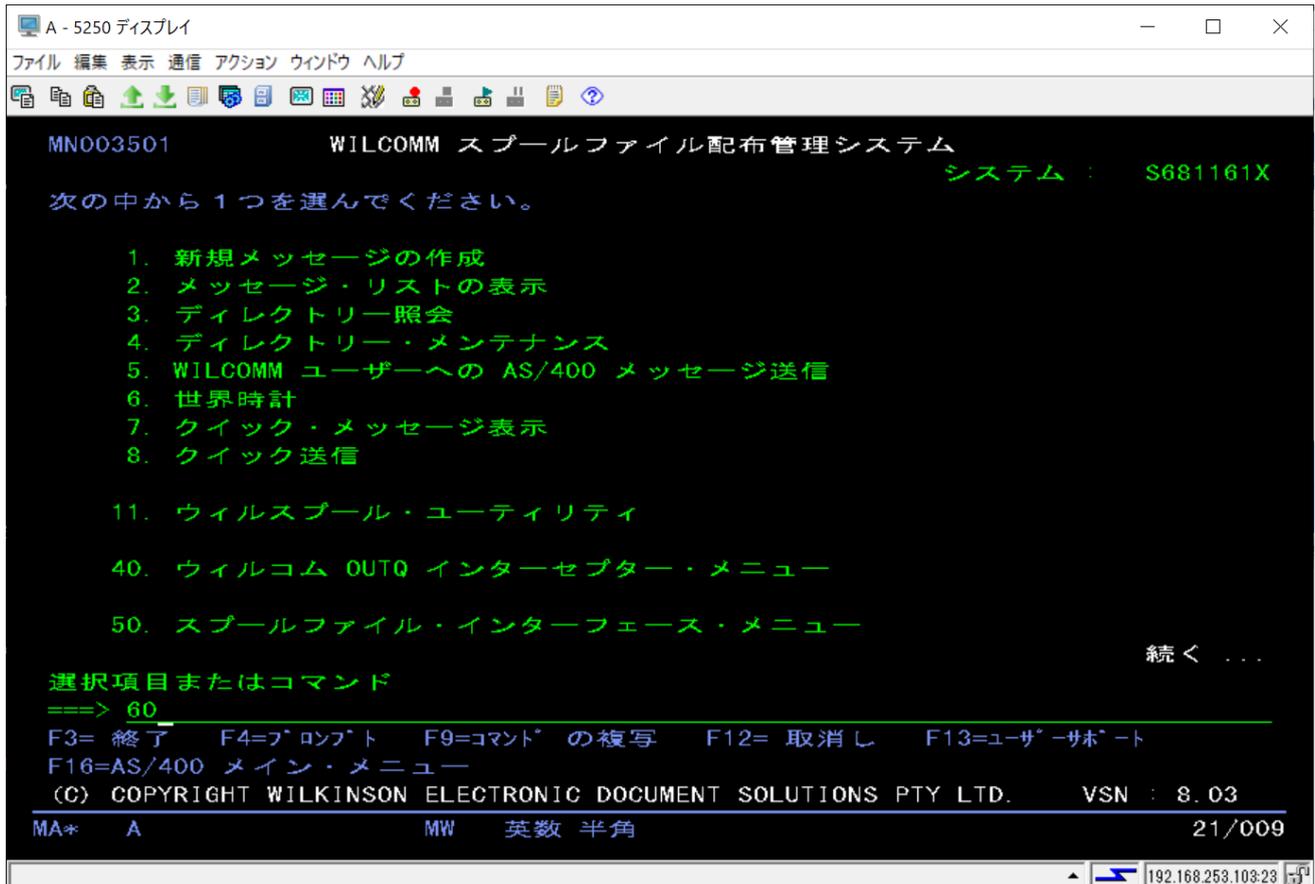
F3= 終了 F11= ビュー 2 F12= 取り消し F20= 書き出しプログラム
 F22= 印刷装置 F24= キーの続き

MA* A MW 英数 半角 10/003

2. AS/400 ページ設定

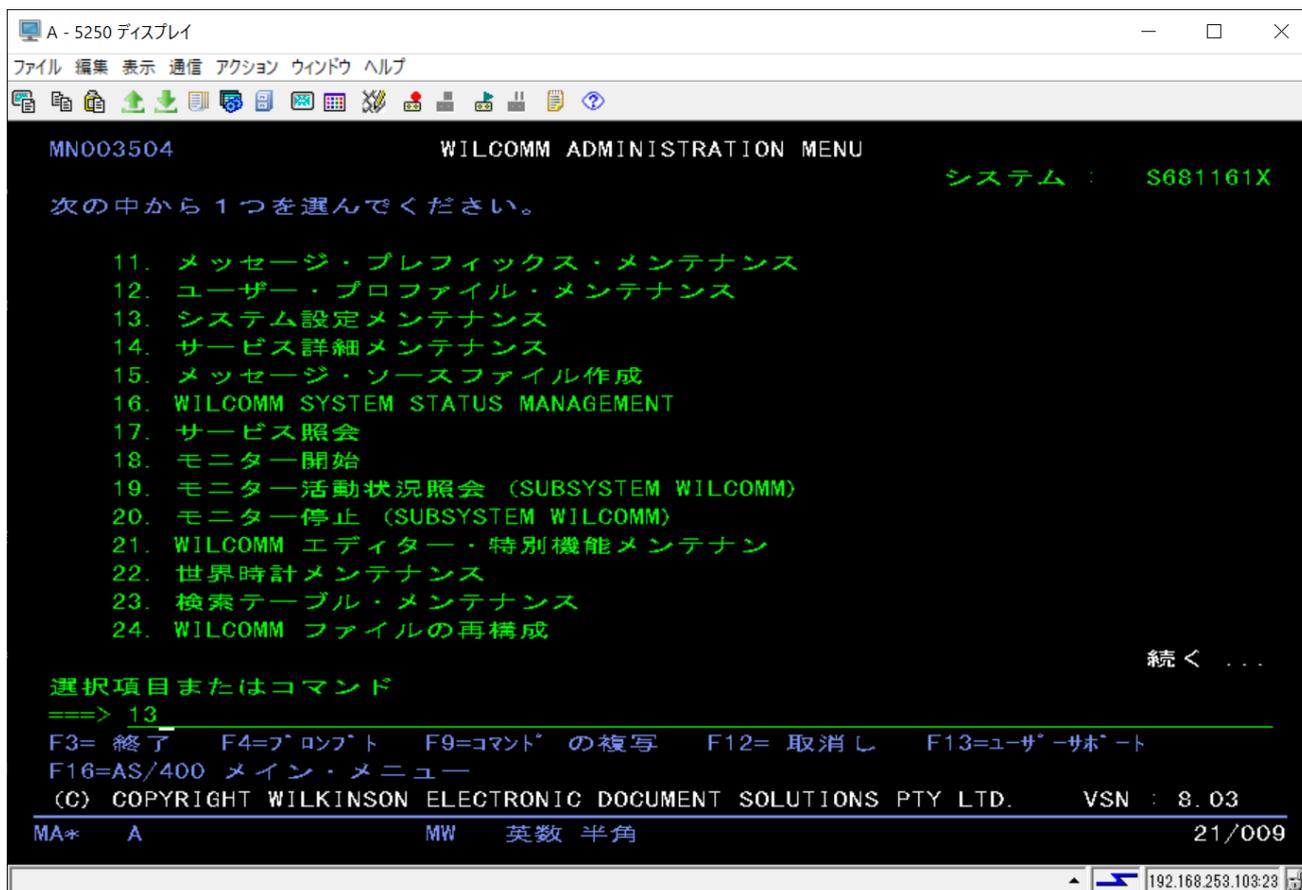
AS/400 のウィルコムは、送信記録及びスプール・データを全てデータベースで管理しています。特にスプール・データをデータベース化している関係で、スプールの容量によっては、AS/400 のディスクスペースを圧迫する要因となります。

ウィルコムはスプールオーナー別に過去の記録を管理しており、そのオーナー単位にページ処理をする実行することで過去の不要データを削除します。

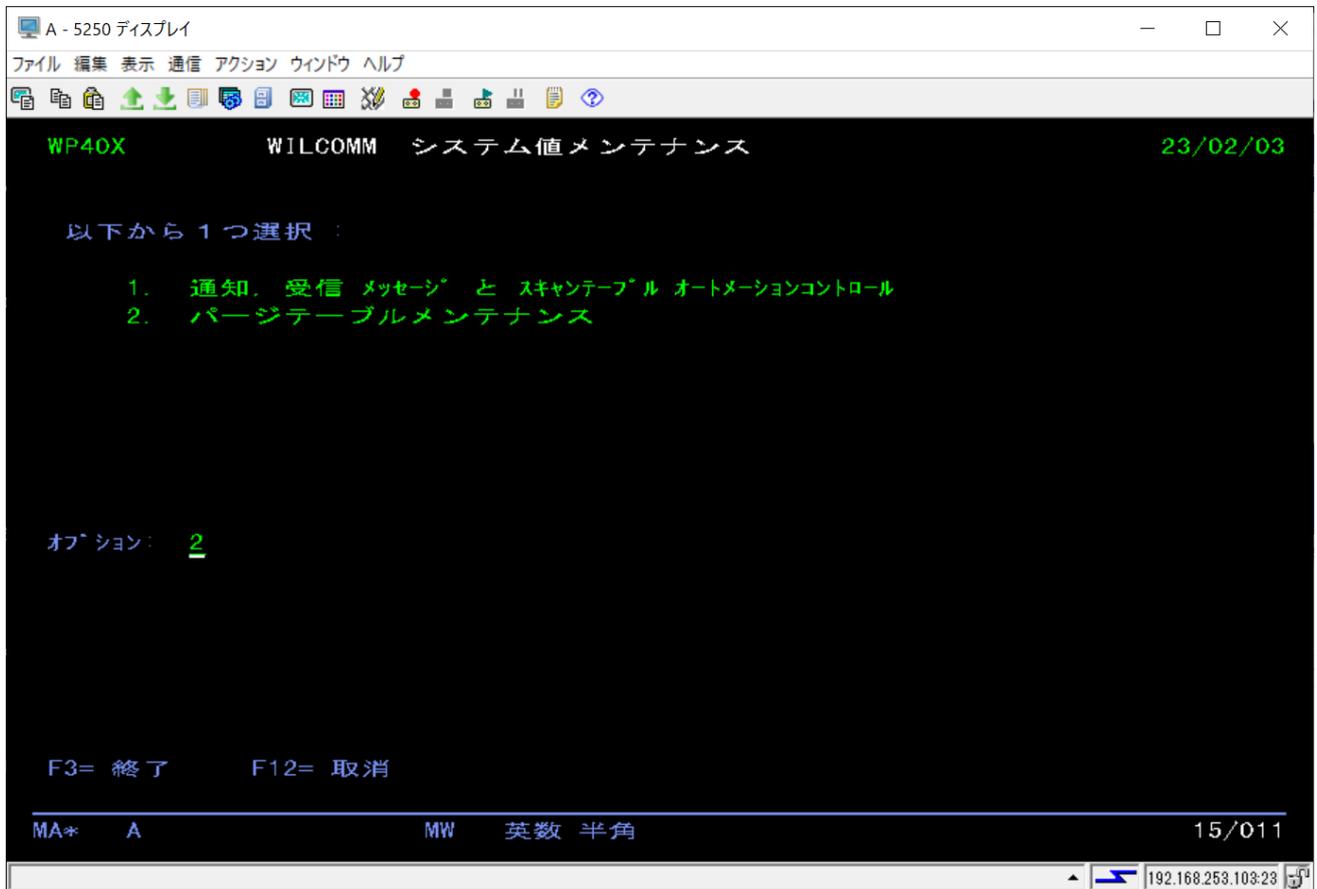


オプション=60「アプリケーション・コントロール・メニュー」を実行します。

注意:これから行う設定は、AS/400 のウィルコムを停止している状態で行ってください。



オプション-13「システム設定メンテナンス」を実行します。



オプションに 2 を入力して実行します。



この画面でユーザー毎にページ処理の設定を行います。

ここに表示されているユーザー・プロファイルは、ページ処理の設定がされているユーザーです。

デフォルトでは*DEFAULTとQSECOFRが登録されています。

*DEFAULTの設定は、登録されていないすべてのユーザーが使用する設定になります。



新規登録をする場合、オプション=1 を入力し、ユーザー・プロファイルを指定して実行キーを押します。

ここで登録できるユーザー・プロファイルは、「アプリケーション・コントロール・メニュー」内のオプション=12「ユーザー・プロファイル・メンテナンス」で登録済ユーザーであることが前提です。



ユーザー・プロファイルに適用する保管日数を入力して、実行キーを押します。

このユーザーが印刷した帳票を処理した履歴を保存する日数を発信保存日数に指定します。

受信保持日数については、QSECOFR についてのみ有効です。この設定は、メール受信機能を使用している場合に、受信したメールを保存しておく日数になります。



登録したユーザーが一覧に表示されます。
 実行キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。
 F3 キーを押すとメニューへ戻ります。



設定を変更したい場合は、ユーザー名の左側に 2 を入力して実行キーを押します。



保存日数を変更して実行キーを押します。



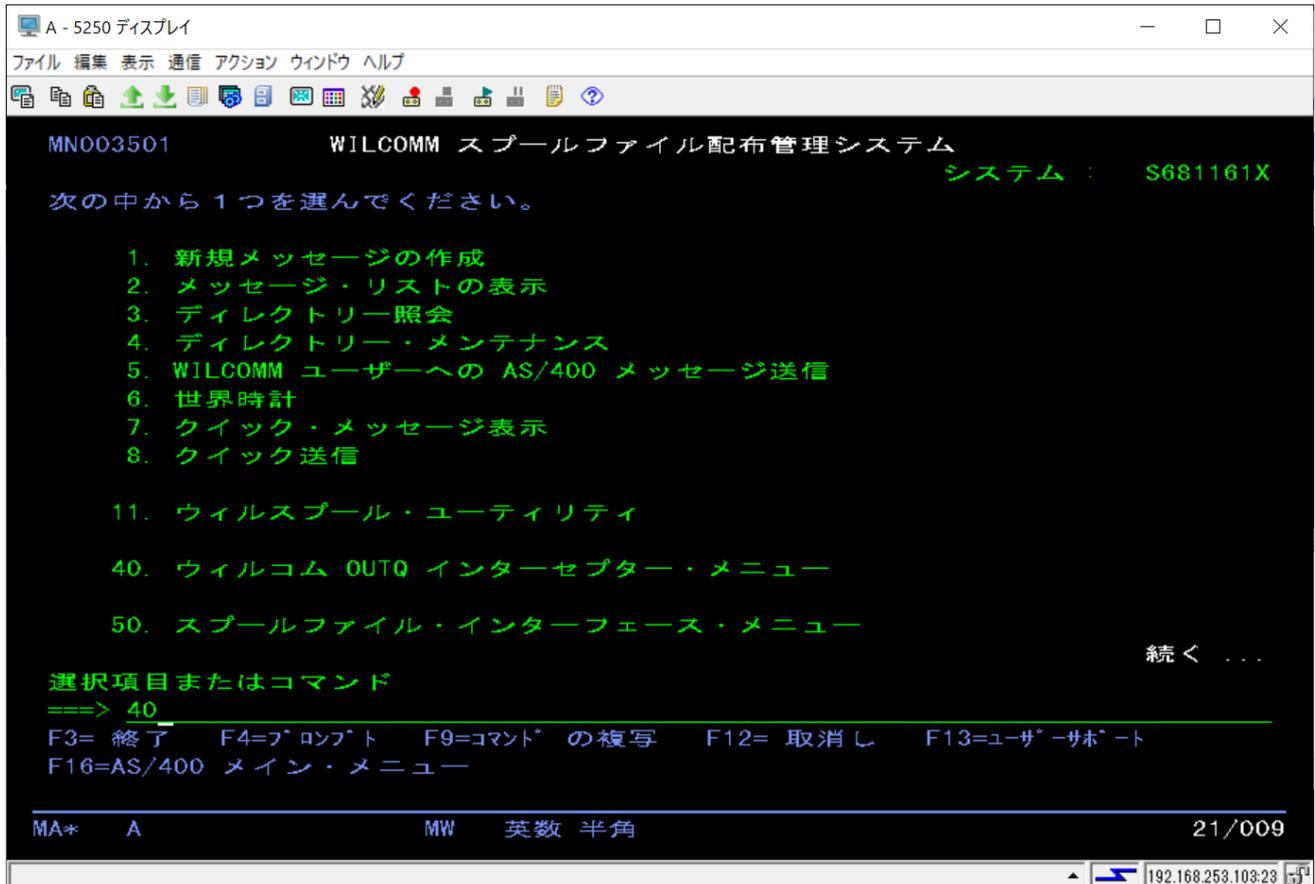
実行キーを押すとひとつ前の画面に戻ります。

F3 キーを押すとメニューへ戻ります。

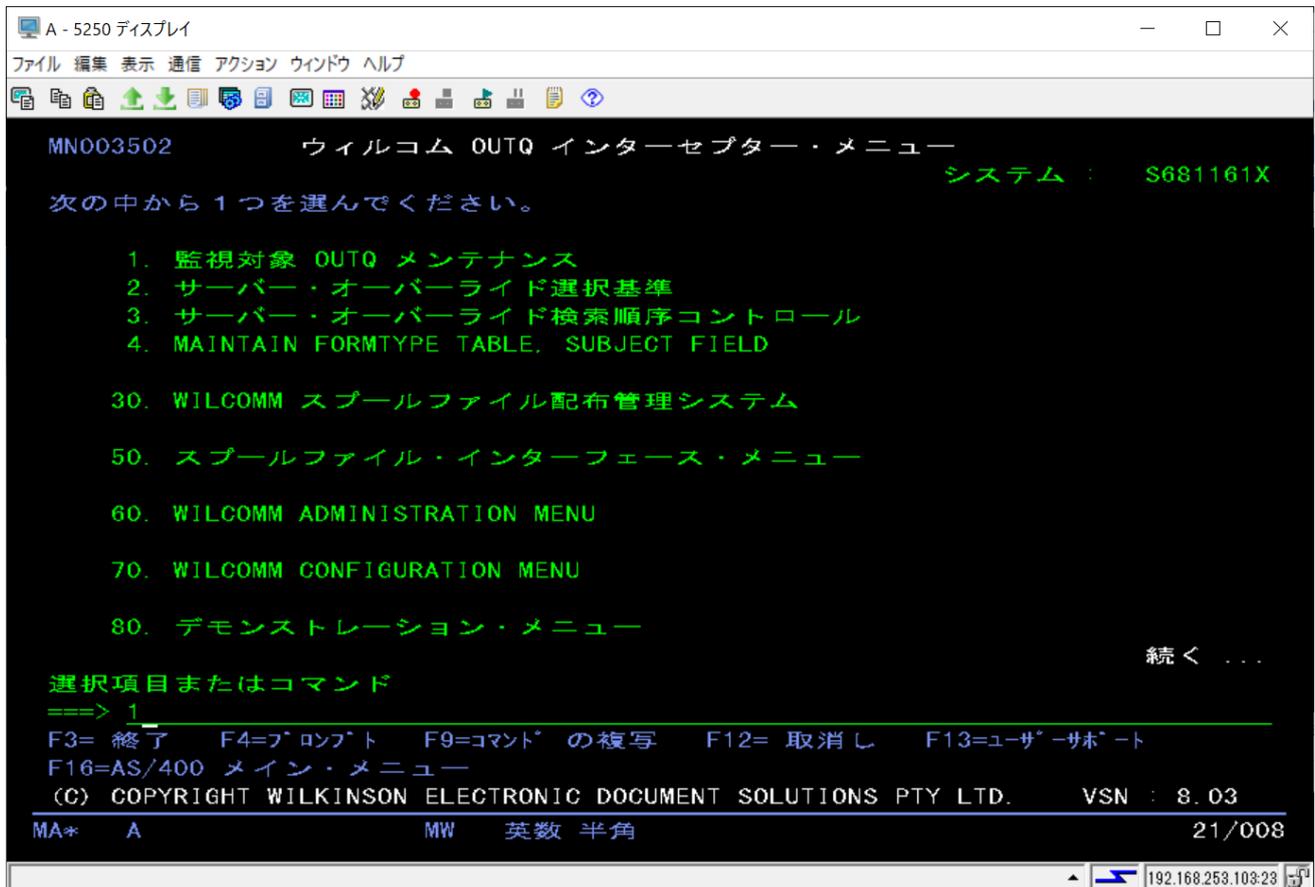
3. AS/400 保管スプールのページ設定

2 ではウィルコムデータベース内のページ設定に関して説明しました。ウィルコムはデータベースにスプールを取り込んで管理していますが、それ以外に送信したスプールファイルをスプールファイルのまま、保管 OUTQ で管理しています。（ウィルコム監視対象 OUTQ の作成時に保管 OUTQ を作成している場合）

保管 OUTQ を作成していれば、ウィルコム監視対象 OUTQ の作成時に保管 OUTQ での保管日数を指定しては
 ずです。この日数は、変更することが可能ですので、その方法について以下に説明します。



オプション=40「WILCOMM OUTQ インターセプター・メニュー」を実行します。



オプション=1「監視対象 OUTQ メンテナンス」を実行します。

これは監視対象 OUTQ の作成を行った際と同様の画面から行います。

「監視対象 OUTQ メンテナンス」の操作に関する詳細は、マニュアル「iSeries 設定の基礎 (TRN063)」を参照してください。

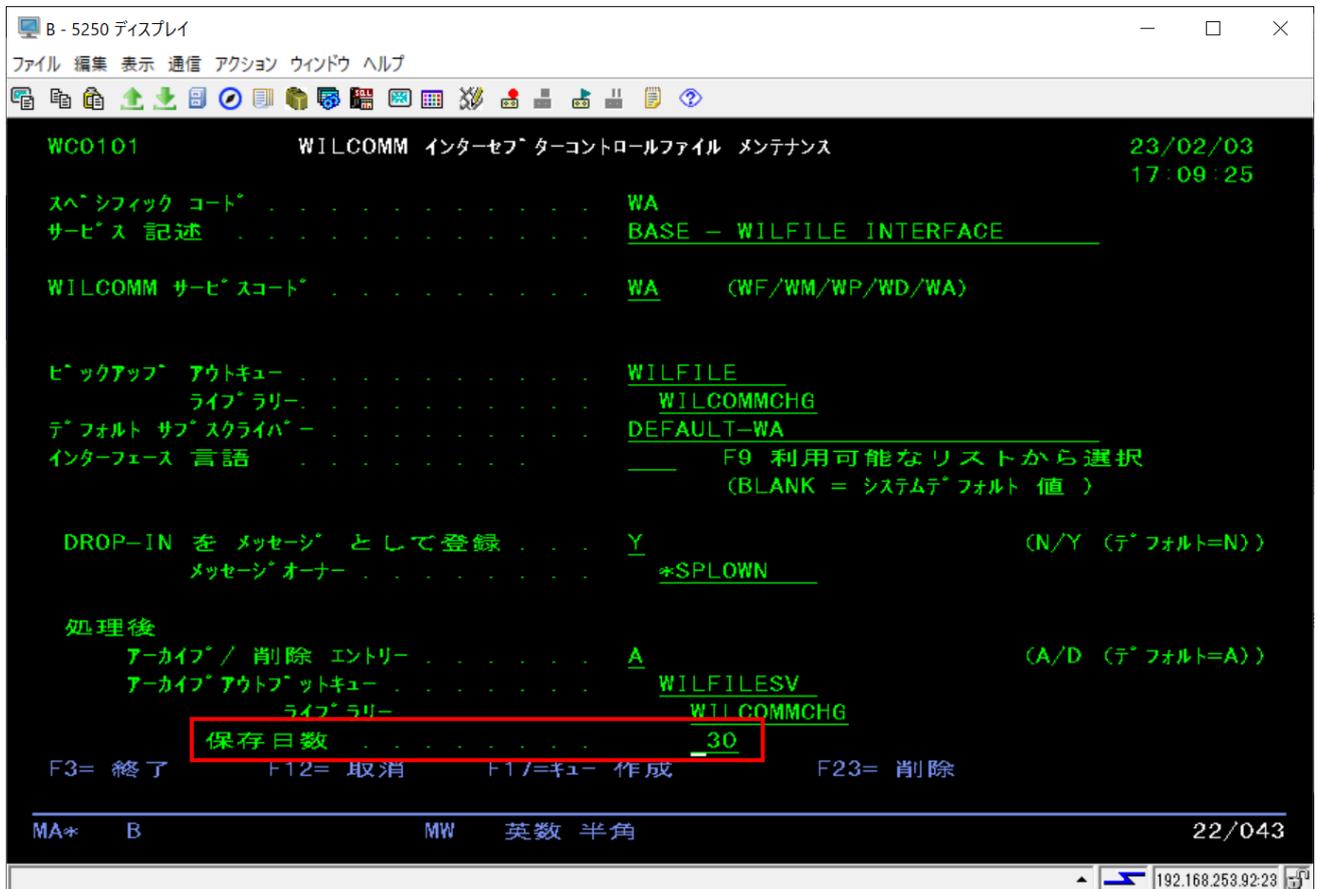


スペシフィック・コードを指定します。

スペシフィック・コードがわからない場合は、ここで実行キーを押してスペシフィック・コードの一覧を表示して確認します。



一覧から右側に表示されている OUTQ を確認し、該当の OUTQ が見つかったら左側のオプションにアルファベットの X を入力して実行します。



「WILCOMM インターセプター制御ファイル・メンテナンス」画面が表示されます。

保管 OUTQ でのスプール保管日数を変更して、実行キーを押します。

※保管日数の最大値は 999 日です。

設定は終了です。AS/400 のウィルコムを一旦停止後、再起動時のページ処理から有効となります。

4. PC パージ処理のタイミング

(1) ウィルコム の起動時

ウィルコム・サーバー(Wilcomm.exe) を起動した際に、設定値に従って自動的にパージ処理が実行されます。起動方法については、マニュアル「ウィルコムの起動と停止 (TRN062)」を参照してください。

(2) 毎日 1:00

1:00 の時点でウィルコム・サーバー(WilComm.exe)が起動されていた場合、設定値に従って自動的にパージ処理が実行されます。

(3) 設定値

保存期間に日数ではなく、時間が指定された場合、1 時間毎に指定された時間を経過したデータがパージされます。

5. PC パージ設定

PC Server のウィルコムも、送信記録を全てデータベースで管理しています。(PC Server の「メッセージリスト」データ)

AS/400 から受け取ったスプール・ファイルは、1 スプール 1 テキスト・ファイルの形式で保管されます。

PC Server のディスク容量に影響を及ぼす上記不要データを以下の要領で削除するように設定します。

ウィルコム・サーバーのツールバー「ツール」→「オプション」を選択します。

オプション設定画面が表示されます。

ウイルコムサーバーオプション...

以下の日数より古い、転送済、取消、転送済(問題あり)の各メッセージを自動的に削除します。

7 日 0 時間(s)

バックアップ・ディレクトリーをチェックしてファイルを取得する間隔: 1 秒

ジョブの実行結果を更新する間隔: 30 秒

実行結果ファイル作成ディレクトリーに、ホストへ送信する実行結果ファイルを作成する間隔: 30 秒

ウイルコムは、ファイルを処理した後、ディレクトリーにバックアップしますが、そのバックアップファイルを自動的に削除しますか？

はい、以下の日数より古いファイルを削除します。 30 日

ウイルコムにEメールの通知を作成させますか？

ウイルコムサーバーへの通知メール作成間隔: 30 秒

WilNotifyに指定される受取人のデフォルトアドレス: _____

送信メールを作成する際に、Eメールアドレスのドメイン名として、以下の文字列を使用します。ドメイン名は、Eメールアドレスの@マークの右側部分です。

Eメールアドレスドメイン名: @ fairdinkum.xsrv.jp

Enable MultiForm

OK キャンセル

赤枠部の設定（メッセージリストの送信記録のデータ削除設定）

「日」或いは「hour(s)」のどちらか一方を設定します。

「日」を設定した場合、日付が変わる午前0時に指定日数より古いデータを削除します。
「hour(s)」を指定した場合、毎時間00分00秒に指定時間より古いデータを削除します。

青枠部の設定(テキスト・ファイル形式のスプール・ファイル・データ)

AS/400 から受け取ったスプール・データを一定期間バックアップすることができます。
日付が変わる午前0時に指定日数より古いデータを削除します。

6. PC Server ログファイルのサイズ変更

PC Server で起動する各モジュールは、実行ログを書き出しています。このログ・ファイルの最大サイズは初期設定ファイル(WilComm.ini)にある「Event Log File Size Limit」値によって決まっています。インストール直後は10MB になっています。ログファイルは最新のもの(ファイル拡張子 log)と1 世代前のもの(ファイル拡張子 old)の2 世代のみとなっておりますので、サイズの的にディスク容量を圧迫することはありませんが、変更する場合は以下の手順で実施してください。

1. 下記のファイルをメモ帳で開きます。

(以下のパスは、ウィルコムがCドライブにインストールされている場合です)

C:\Program Files (x86)\Pentana Solutions\DocuSmart Suite\WilComm 4\Application Data\WilComm.ini

以下青字部分の値を変更してください。

```
[EventLog]
EventLogFileSizeLimit=10000
TempLog=N
LogToDatabase=N
LogLevel=0
PurgeLogDays=3
```

設定値の変更は、各ウィルコムアプリケーションを再起動した後に有効となります。

(補足)

PC Server のディスク・スペースを圧迫する要因は、他に Windows のイベント・ログがあります。ウィルコムの処理を行うことで、イベント・ログへ記録されるログがございますので、イベント・ログのサイズについても設定を行っていただくことをお勧めします。